

北九州市学校給食審議会議事概要

1 会議名 令和元年度 第1回北九州市学校給食審議会

2 議 題 給食費の改定について

3 開催日時 令和元年7月31日(水) 14:00~15:00

4 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟8階 812会議室

5 出席者氏名

[委員] (13名: 順不同、敬称略)

村上さとこ、天本祐輔、加塩大輔、貴志倫子、安倍ちか、脇文子、清水良江、
遠藤誠一、佐藤文俊、倉本京子、本庄裕子、淵上瑞恵、諸藤貴子

[事務局] (8名)

教育次長、学校支援部長、学校保健課長、ほか関係職員

6 議事要旨

◆「給食費の改定」について事務局より説明。

◇委 員 ・ 令和元年5月実施の給食献立アンケート結果で、網掛けされている献立が提供できていないことは、子どもや保護者は知っているのか。

◆事 務 局 ・ 献立は翌月分しか配布されないため、現状では見えていない。献立が厳しい状況にあるということは様々なツールで保護者へ発信していきたいと考えており、本審議会の資料もホームページに公表する。

◇委 員 ・ 学識経験者からすると給食費は上げることは致し方ないと思うが、PTAやその他保護者には、給食費が上がるという雰囲気は醸成されているのか。

◇委 員 ・ 給食がこの金額で食べられていることはありがたいという意見は多い。一方で、経済的にきつような家庭ではこれ以上上がったらという意見もある。どちらの声が大きいかというありがたいなという意見の方が多い。

◇委 員 ・ 保護者としては、給食費を上げることは、多分もうみんな仕方ないと思っています。私もこの審議会で、給食費が光熱水費や調理員の人件費などを含まない純粋な食材費であることを初めて知った。そのようなことも周知すれば、納得を得られるのではないかと。

◇委 員 ・ 平成26年度の給食費改定の際に消費税5%から8%の増税3%分の転嫁を見送ったことなど、保護者が知らない情報を周知すれば、納得してもらえるので

はないか。

- ◆事務局 ・本審議会で、改定の額と時期をご議論いただき、給食費改定となれば、保護者向けにチラシの配布や出前講演など、PRを図っていきたい。

- ◇委員 ・給食費値上げは仕方がないが、生活保護などや就学援助を受けられないボーダー層世帯への手当拡充が必要なのではないか。
・東京都世田谷区では10月から給食費のみを対象とする就学援助区分を新設している。北九州市でも同様の取組みができないか。
- ◆事務局 ・経済的困窮世帯についても、ある程度、就学援助でカバーできていると考えており、認定基準緩和は難しいと考えている。
・世田谷区の件については、市議会においても、本市教育委員会としては、現行の就学援助制度に加え、給食費のみを支給対象とするような制度を設けるとすれば、新たに財政負担を伴うこととなるため、制度の新設は考えていないと答弁させていただいた。
- ◇委員 ・子育て日本一を標榜する北九州市としては、財政負担という考えではなく、子どもたちへの投資として考えて然るべきではないか。
- ◆事務局 ・1人当たりの平均所得金額をみると、北九州市で約311万円、世田谷区で約554万円であり、これに伴い、税収も異なる。このような財政事情があることもご理解いただきたい。
- ◇委員 ・住む場所によって、子どもたちが受けられる利益が異なるというのはどうかと思う。子どもは未来をつくる。本当に未来の宝だから、市の予算全体を見ながら、給食費の財政のバランスをもう少し見直して考えてほしい。
- ◇委員 ・かけるべきところにつけないといけないというのは、すごく思う。だからこそ、私たち保護者は自分の家庭のお金は決まっているのだから、携帯電話代にではなく、衣食住にしっかりかけることを家庭で考えないといけない。給食費が改定になったら、私たちもその意義を伝えていかないとけない。
- ◆事務局 ・教育委員会としても子どもの方にお金を使わないといけないのは当然と思っており、施設の老朽化対策や教室のエアコン設置など様々な事業の優先順位を踏まえ、予算の使途を考えながら施策に取り組んでいる。

- ◇委員 ・就学援助について、受けられるのに受けていない人がどれくらいいるか把握しているか。
- ◆事務局 ・個人の収入額が把握できないため把握していない。しかし、就学援助については、ホームページ、市政だより、就学時検診の際などで周知しており、学校においても家庭訪問の状況などを見ながら、働きかけをしている。
- ◇委員 ・市全体の予算の話は、この審議会で審議する内容ではないと思う。子どもたちのことを案じている議員の方々と教育委員会が連携して予算確保に努めていただくよう、市議会などの場で提案していただきたい。

- ◇委員 ・給食の内容が充実すれば、残食は減るのか。
- ◆事務局 ・子どもたちに人気のあるメニューは残食が少ない傾向が見られる。デザートや果物などがあると、食べることへの意欲に繋がっていると考えている。
- ◇委員 ・献立でパンとうどんの組み合わせがあるが、給食費が値上がりすれば、この組み合わせは無くなるのか。
- ◆事務局 ・栄養量確保の面から、うどんと小さい規格のパンという組み合わせになっている。給食費が上がっても、この組み合わせは変わらない。
- ◇委員 ・給食費を上げたことで、給食献立アンケートであがった子どもたちの好きなメニューが提供できるようになれば、アンケートを反映してもらえたのだと子どもたちも喜ぶと思う。
- ◆事務局 ・子どもの意見を表明する機会を与えることは大変重要であると考えている。子どもたちの意見が反映できるアンケートの作成を事務局で検討したい。

事務局：

北九州市教育委員会事務局学校支援部学校保健課

TEL 093-582-2381